**題　目**

○著者１氏名，著者２氏名＊，著者３氏名＊＊

著者１所属，＊著者２所属，＊＊著者３所属

1. はじめに

本書式は電気関係学会東北支部連合大会用講演予稿用である．本書式を利用し，以下のルールを熟読し，講演予稿を作成されたい．

2. レイアウト

1) 用紙：A4判白紙1枚を縦に使用．

2) 余白：上30 mm，左右下20 mmの余白をとる．

3) 段組：二段組み，一段組みのいずれかを選択．

3. 構成

題目，著者名（講演者に○），所属，本文，参考文献の順に記載．著者の所属が複数ある場合，\* \*\*　†　‡　等で所属の違いを明記．

4. 文字

1) 色：黒とする．カラー原稿は不可．

2) 大きさ：

題目　14ポイント
氏名　12ポイント
所属　12ポイント
本文　10ポイント

3) フォント：明朝体，ゴシック体が望ましい．

5. 図表

図表は本文中の適切な位置に貼りこみ，通し番号を付与し，キャプションを記載．

表 1：　表の例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 電界 | 電束密度 | 磁界 | 磁束密度 |
| ***E*** | ***D*** | ***H*** | ***B*** |

6. 数式

以下のように数式は中央揃えとし、右寄せ括弧付き数字で通し番号を記載．

|  |  |
| --- | --- |
| $$B=∇×A$$ | (1) |

本文中でこの数式引用する場合は、(1)と記載．

7. 参考文献

参考文献は出現順に番号を付与し，本文中で参考文献を引用する場合は，角括弧付き数字で[1]，[2,3]，[4-6]のように記載．



図 1：　図の例

参考文献

1. J. C. Maxwell, “A Dynamical Theory of the Electromagnetic Field,” *Phil. Trans. Roy. Soc. Lond.*, **155**, 459-512 (1865).